

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月5日

江別市立江別第一小学校

1 本年度の重点目標

「子どもが主役」の第一小学校
～おもしろい授業・わかる授業で楽しい学校をつくろう

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	「めざす子ども像」の実施状況はどうだったか。 ①思いやりをもち助け合う子 ②すすんで学びよく考える子 ③ねばり強くやり抜く子 ④心も体もたくましい子	B 3.18	「たくましさ」「くじけない強い意志」は全教職員がチームとしてそれぞれの得意分野を生かしながら、6年間の学びをつなげて育てていくことが重要である。家庭とも連携しながら育てていく必要がある。	A	A
	今年度の重点目標である、「子どもが主役の第一小学校～おもしろい授業・わかる授業で楽しい学校をつくろう」の達成は図られたか。	A 3.32	校内研究や石狩管内の重点を意識して、これからの時代を生き抜く子どもたちに必要な「資質・能力」を身に着けさせる授業づくりを進めることができた。今後も継続した取組が必要である。	A	A

教育課程・学習指導	基礎基本の確実な定着のための個に応じた指導体制(学年内教科担任制を含む)の確立・多様な学習形態を工夫することができたか。	A 3.39	学年内教科担任制やTT・少人数指導、児童と保護者の了解を得た上での個別指導等、指導方法・体制の工夫や改善は、今後も図っていく必要がある。	A	A
	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改革(子どもの問いから出発)を推進することができたか。	A 3.50	子ども主体の授業を目指し、授業の「課題」や「まとめ」は、子どもの言葉から作成することを大切にしてきた。今後も子ども主体の授業を目指す。	A	A
	「対話」と「ICT活用」による価値交換を実現することができたか。	B 3.25	子どもたちに資質・能力をつけるために、授業研究等で、「対話」や「ICT活用」について意識することができた。今後もICT研修を取り入れるなど、活用事例を交流したり、積み上げたりする場を作っていきたい。	A	A
生徒指導	自他を大切にし、互いに認め支え合う人間尊重教育を全教育活動を通して進め、「いじめは絶対に許さない」学校・学級づくりはできたか。	A 3.57	今後も学校全体で人権教育を中心にした、「いじめゼロ」の学校を目指す。いじめを積極的に認知し組織的に迅速に的確に対応していく。	A	A

	いじめ不登校、問題行動に関わる情報収集及び全体共有、解決・解消に向けて、関係機関と連携を図りながら組織的対応を行うことができたか。	A 3.57	定期的に不登校対応検討委員会を開催し、情報共有を図ることができた。また、いじめ防止委員会も開催し、組織的な対応を進めることができた。	A	A
小 中 一 貫 教 育	義務教育9年間を貫くカリキュラム・マネジメントを行い、小中一貫教育を推進することができたか	A 3.32	一中・三中の二つの校区で、スタンダードを一つにまとめることができた。今後はもっと保護者・地域に浸透させなければならない。カリキュラムは、専門の部会内のみでの実践となっており、他の部会の進行状況を見える化する必要がある。	A	A
特 別 支 援 教 育	児童個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ることができたか。	A 3.61	特別支援コーディネーターと連携して教育相談の充実を図ることができた。個別対応が増える中、難しい場面もあるが、今後も組織的対応を進めていく。	A	A
働 き 方 改 革	子どもと向き合う時間を確保し、持続可能な働き方の推進を行うことができたか。	B 3.11	子どもと向き合う時間の確保のために、業務全般の精選やサポートについて保護者や地域に理解を求めていきたい。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

1. 令和7年度の学校年度末評価、学校関係者評価書は了承。

- ①保護者の方が興味をもって前期のアンケート結果を見ていることが伝わる。保護者の強い思いの矛先は学校に向きがち。いろいろな意見もあるだろうが、毅然とした対応で、引き続きがんばっていただきたい。
- ②情報モラルについて。スマホやタブレットの使い方について、親が見切れない場面がある。基本的に家庭で管理すべきものと思うが、学校とも連携していけたらと思う。
- ③保護者アンケートは、よい評価をいただいていると見ていいのではと思う。中には、それは学校にお願いすることではなく、親がやるべきことでは?という意見もある。
- ④ICT活用は、避けては通れないが、メリット・デメリットがあるだろう。子どもの特徴をとらえながら、軽重をつけて取り組んでほしい。

2. 令和8年度の学校経営方針は了承。

- ①学年内教科担任制は、複数の目で学年全体を見ることにもなるし、実際に授業を受けている児童にも好評である。
- ②自己肯定感が高めるには、「同じ考えの人がいる」「そのままの自分でいいんだ」という「心理的安全性」を積み重ねていくことが大切。

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない